

松伏第二中学校からの要望と松伏町議会のコメントについて

テーマ1 「学校に関する生徒の要望」

(その1) 体育館にエアコンをつけてほしい。

議会のコメント

昨今の猛暑における対応として、学校の体育館のエアコン設置は必要不可欠であると考えています。特に体育館は災害時の避難所となることも想定されることから、体育館のエアコン設置に関して、議会では、一般質問や予算審議において、再三にわたり取り上げられています。町が優先して取り組む課題であると議会も思いを共有しています。近隣市でも設置が進んでおり、早急な対応が必要と認識しています。

令和7年9月の定例会に令和7年度一般会計補正予算第2号が上程され、その中に体育館空調設置工事基本設計業務委託料62万1千円が計上されました。可決成立したことで、小・中学校5校の体育館は、大きさや構造が異なるため、専門的な見地から、それぞれの体育館で最も適した熱源や機種、必要な熱源の工事や断熱の工事の必要性等を検討し、概算の工事費を算出することになりました。

一歩前進と捉えています。

(その2) 学校の外にある時計のズレを直してほしい。

議会のコメント

議会としては始めて接する情報と思われます。

皆さんのご不便を考えると、早急な対応が必要だと思います。

教育委員会の予算には、各小学校及び各中学校の修繕に関する予算が毎年組まれております。教育委員会など関係機関とも情報を共有して、交換なのか修理なのか対応していきます。

(その3) 地域と連携した「体験学習」を実施してほしい。

議会のコメント

現在行われているスリーデイズだけでは物足りないとの要望と思われます。教科学習との関係性や、学校行事との兼ね合いなども考慮すべきと考えます。しかし、町を理解し愛着を持てるようにするという理由は嬉しく感じました。

教育委員会や学校と情報共有するとともに、他自治体の例なども参考にしながら、議会としても研究したいと思います。

学習体験でなくても地域の文化に触れ、地域の事が知れ場はあります。例えば、地域ごとに自治会が存在しており、地域の問題や課題に取り組まれており、イベントを開催しているところもあります。自治会の活動に参加し、身近なところで自分が住んでいる地域を考えてみることから始めて良いかもしれません。地域との連携は、まちづくりには大変大切なことです。

また、災害時の避難所運営では、高齢化に伴い中高生の活躍が求められていますので、避難所訓練時に参加してみることもよい経験になると思います。

テーマ2 「将来に向けた町に対する要望」

(その1) 道路の段差や歩道の整備。また街灯を設置してほしい。

議会のコメント

道路の整備は議会で度々取り上げられている課題です。町道が劣化している箇所が多々あることは認識しています。

必要な修繕を順次行っているものの、町道の総延長は約260キロメートル(東京から名古屋までの距離)あります。その内約170キロメートルが舗装されていますが、十分な整備が追い付かない現状です。

また、街灯については町全体で約2,600の防犯灯が設置されています。道の凸凹と併せて、通学路は一層の安全性が必要との指摘はもっともあると思います。議会として今後の参考にさせていただきます。

(その2) ゴミが道路にたくさん落ちているので、ゴミ箱の設置や処理をしてほしい。

議会のコメント

きれいなところにはゴミを捨てにくい心理が働きます。きれいな町であってほしいという思いに共感します。

具体的にゴミ箱を設置することや、工夫を凝らしてゴミのポイ捨てをなくす取り組みの提案も素敵だと思います。家に持ち帰って捨てるなどを促進するのか、あちこちにゴミ箱を設置するのか、ゴミの収集や処分は町の責任で行うもので、検討をしたいと思います。

(その3) 駅をつくってほしい。

議会のコメント

鉄道の誘致と駅の設置は町民の長年の悲願であることは議会も共有しています。

具体的には地下鉄8号線の誘致を目指しています。地下鉄8号線は東京メトロ有楽町線のことで、「東京直結鉄道」、「高速鉄道8号線」とも言います。現在まで松伏町を含む地下鉄8号線沿線自治体(野田市、草加市、越谷市、八潮市、吉川市、足立区、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、八千代町)では、「地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会」を構成し、地下鉄8号線の延伸区間のうち八潮から野田市間の先行整備を目指して活動しています。

令和3年度から令和6年度までの4年間で「高速鉄道東京8号線(八潮～野田市間)整備検討調査」を実施し、報告書には、それぞれの沿線自治体がしっかりとまちづくりが進められれば、採算がとれるとの結果が出ています。今後も鉄道誘致に向けた活動を進めていきます。